



**冬期特別講習**

**受講生募集**

松進は小学生から高校生まで専任講師が様々な科目を直接教えている正統派学習塾です。

伸ばし方を熟知した先生たちが、わかりやすく指導します。

**小学部**

**単科講座**

基礎から応用まで指導します。

**宿題帳指導会**

「宿題帳のわからないところ」を中心に教えます。フクフク理科実験もやります！



**中学部**

テスト問題、入試問題はこうやって解く！

**入試5科目講座(中3)**

**単科講座(中1~中3)**

**高校部**

**高1・高2生**

英語、数学(A・B・C)、理科学・化学・物理を開講。

**大学受験生**

センター目前！間違えやすい問題を解説。最終チェック！



※お気軽にお問い合わせください。

**中3進路面接行われる**

近年、高校の学科再編、入試制度の変更、普通科の中でもコース選択ができるなど多様な変化が見られます。

このような状況下、進路指導は情報の他に知識と経験が求められます。

先日、保護者に同席していただき、学校のテスト結果、通知票、塾のテスト結果などのデータを過去の合格データと照合しながら進路についてお話をしました。

第一志望校に合格できるように、私たちも全力で指導します。

**大学見学に行ってきました**

実際に大学へ行って何かを感じてもらおうと、「大学見学ツアー」を実施しました。

午前は昨年に続き日本最難関の東京大学へ。

案内は現在、東京大学大学院とJAXA(宇宙航空研究開発機構)に所属している松進出身の加藤君です。

伝統を感じる建物、大きな図書館、難しい内容の展示物...どれもみんなびつくり。

研究のことや大学生生活のことを加藤君に質問しながら、広い構内を回りました。



研究者、カッコイイな〜!



最後に加藤君から「何でも良いので自分の好きなことを見つけて、それができるように今をがんばってください」と応援の言葉をもらいました。

午後は「行きたい学園祭ランキング」で1位の青山学院大学へ。

とにかくすごい人！ライブや屋台のイキイキした学生の姿に圧倒されっぱなしでした。

参加した学生たちは、驚きと刺激を受けたようでした。



**参加者の感想です。**

案内して下さった加藤さんの、夢に向かって精一杯努力したり勉強したり未来へ進んでいく姿がすごかった！いいと思いました。加藤さんや青学の学生さんのステキな姿、生き方を見て大学に入りたいなと思いました。

日本の一番の大学っていう感じが、いろいろ活動(研究)が展示してあって、すごいなと思った。

今回のツアーで大学に行ってみたくて思ったので、今後も勉強をしっかりと自分の目標を達成できるようにがんばりたい。

大学生は自由だった。すごく楽しそうなお話でしたが、勉強もしっかりとできる方々と考えると、すごいなと思った。

高校で死ぬほど勉強したからこそ手に入る時間だと思おうので、私も沢山勉強して、楽しい大学生活を送りたいと思った。



**実験でフクフク**

小学生対象の実験大会を行いました。

テーマは「光」。最初は光の3原色の説明&実験。

「みんな、赤と青の光を混ぜたらどうなるかな?」

「紫色〜」

「そうだね。じゃあ、赤と青と緑の光を混ぜたら?」

「黒? 黒い光?」

「ぐちゃぐちゃ色笑」

教室の明かりを消し、壁にそれぞれの色の光をあてると:

「え? 何色?」

目を凝らす生徒たち。みんなスタートからフクフク感じっぱいです。

続いて光の反射を利用した実験。「今度はスパイメカネを作るよ〜」

「え! スパイ!」

スパイという言葉に興味津々。色付きのプラスチック板をメガネの形に加工。

「ほら、前を向いているのに後ろが見えるよ〜」

「本当だ。先生の顔が見える!」



光のしくみは...



何色に見えるかな?



じゃ〜んけ〜ん

**変革と教育者**

2020年度から「大学入学共通テスト」が実施されます。

これは、グローバル社会で活躍できる人材の育成を掲げる教育改革の一環として導入されるもの。

試行調査が実施されましたが、複数の文章や図表から情報を読み取らせる問題や、会話文を使った問題など、知識だけでなく、その背景まで理解しているか、思考力が問われる内容が目立ちました。

一方で文部科学省は小6と中3を対象に「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」を今年も実施しましたが、長野県の児童生徒は算数、数学で全国平均を下回るという結果だったようです。

知識を問うA問題の平均正答率とともに全国平均に届かなかったのは4年連続です。

優秀な先生たちが指導しているのに、このような結果が何年も続いているのはなぜでしょう。

成績上位県の秋田県に視察に行った教育委員会や学校の関係者は秋田教育を見、自分たちの教育に何が欠けているのかを学んだはずで

す。しかし時間が経ても長野県の学力が改善したという声を聞くことはありません。

県教委は「重点対策チーム」を立ち上げ、具体的な授業改善策を模索しているようですが、教育の現場が「既成概念」にとらわれているのは、いくら授業にフォーカスを当てても改善すべきポイントは見つからないのではないのでしょうか。

※おもろいと評判の「松進のしえんしえ〜」はお休みします。

